

Japan creation space monova（モノヴァ）は、モノづくりの情報発信をするショールームです。
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。

— 今月のオスメ —

エッジの効いたスタイリッシュな贈り物



BB デイリーバッグ

傷がつかないように恐々触れる革ではなく、はじめからずっと使って馴染んだように扱えるしなやかな革のシリーズ「hmny casual.」。撥水加工を施してある為、汚れがつきにくく、適度なシワ加工が手馴染み良く風合いを増しています。

BBとは、「Black&Blue」のこと。シンプルなブラックのバッグを開くと、中から鮮やかなブルーが覗きます。アクアガードのファスナー部分は、機能はもちろんデザインも秀逸。細部までこだわりが感じられ、ギフトにもオススメです。

製造：ルボア株式会社

産地：香川県

素材：撥水加工牛革

価格/2サイズ展開 30,240円（税込）/S：21,600円（税込）

monova gallery 展示会案内 <現在開催中の展示会> 「丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術展」11/22（火）まで

資料
添付

11月23日(水)～12月6日(火)

IKAZAKI WALLPAPER展

若き企業家が海外の金箔技術者とタッグを組み生まれた和紙製品。古くからある和のデザインを、現代的な壁紙にリデザインした新作をご紹介します。



資料
添付

12月8日(木)～1月17日(火)

monovaの冬モノ展

年々リピーターを増やしている人気のやわらか湯たんぽと絹と炭のウォーマーのほか、食卓を彩る土鍋や器、手織りストールなど、五感で楽しむ季節のアイテムを展示します。



<お問合せ> Japan creation space monova 担当：川田

tel：03-6279-0688 mail：info@monova-web.jp WEB：<http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

丸和繊維工業株式会社 主催
「丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展」を開催中！
2016年10月27日（木）～2016年11月22日（火）

ホテルマン・ドライバー・バーテンダーなど、多くのプロフェッショナルが愛用する丸和繊維の「動体裁断」のシャツ。
メイド・イン・ジャパンの繊細な技術が宿る製品をご紹介します。



INDUSTYLE
TOKYO

動体裁断 動体縫製®



創業60年、丸和繊維工業が追及した
究極の着心地とおもてなしの心

宇宙飛行士の船内被服として採用された実績を持つ、東京墨田区にある丸和繊維工業株式会社。まるでシャツが身体に寄り添ってくるかのような着心地のシャツは、立体裁断にあらかじめ動きの要素を入れた「動体裁断」技術により、いままで感じたことのない着心地から発売以来ファンを増やし続けています。そして今回は丸和繊維の新ブランド、結ばない風呂敷「おつつみ」もご紹介します。また、「つつむ」ための「おつつみ」だけではなく、そのバリエーションに富んだプリント生地と動体裁断を用いたレディース用のフィット感抜群のパンツとのコラボレーションもご覧いただけます。

【展示内容】

1) 動体裁断レディースパンツ×おつつみ

1枚の型紙でつくられる超立体型のパンツは動いた時にスムーズに体にフィットし、形の崩れない美しいシルエットを生み出します。機能性に優れたパンツをロールアップするとオリジナルテキスタイルが覗く粋なデザインです。

2)【INDUSTYLE TOKYO】動体裁断ニットシャツ

人間の皮膚を研究し開発された、ノンストレスな着心地のニットドレスシャツ。腕を上げても裾が上がらず着くずれしません。

3) OTUTUMI(おつつみ)

「おつつみ」は2016年に特許を取得した、おもてなしの心を布で表現する新しい布ラッピングです。現代のクリエイターが作り出す豊かなデザインの“現”(ututu)や日本の古典的な匠を現代的に解釈し“粋”を表現した“大江戸”の展開でバリエーション豊かに日本の心「おもてなし」を表現します。

◆丸和繊維工業株式会社 紹介◆

1956年に肌着メーカーとして創業。現在はニット製品の内、主に紳士・婦人・スポーツ・ゴルフウェアの製造販売を行う。2010年宇宙飛行士の山崎直子氏の船内被服に採用される。INDUSTYLE TOKYOが日本独自の精神である“おもてなし”の心から生まれた魅力ある商品・サービスを世界へ発信するプロジェクト「おもてなしセレクション」や全国百貨店の目利きのバイヤーが選ぶ「話題賞」に選定される。

<http://www.maruwa-tex-ind.co.jp>

－開催概要－ 丸和繊維工業 心と身体に寄り添う技術 展

会 期：2016年10月27日（木）～11月22日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：丸和繊維工業株式会社

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

株式会社五十崎社中 主催
「IKAZAKI WALLPAPER展」を開催！
2016年11月23日（水祝）～2016年12月6日（火）

若き企業家が海外の金箔技術者とタッグを組み生まれた和紙製品。
古くからある和のデザインを、現代的な壁紙にリデザインした新作をご紹介します。

GILDING WASHI WALLPAPER

ギルディング和紙壁紙新作発表

四国・愛媛県内子町五十崎（いかざき）地区は樹齢250年を超える榎（えのき）が守る小田川の清らかな水と、周囲の山々から吹き下ろす風の気配に満ちた土地です。美しい水から作られる手漉き和紙は、土地の人々のくらしに根差し、大切に守り育てられた伝統産業です。五十崎社中は職人たちが一枚一枚手作りで仕上げた和紙と、フランスの金箔技法ギルディングとの融合商品等、新たな和紙のある生活＞を提案しています。

今回は、国内外で活躍するデザインオフィスcosmos社代表・アートディレクター内田喜基氏の斬新なデザインと五十崎社中がもつオンリーワン技法・ギルディング和紙を使った新たな壁紙『GILDING WASHI WALLPAPER』をご紹介します。

【展示内容】

ギルディング和紙壁紙『GILDING WASHI WALLPAPER』、和紙雑貨など

【内田喜基氏プロフィール】

1974年静岡生まれ。博報堂クリエイティブ・ヴォックスに3年間フリーとして在籍後、2004年cosmos設立。広告クリエイティブや商品パッケージ、地場産業のブランディングにとどまらず、ライフワーク「Kanamono Art」では インスタレーション・個展を開催。受賞歴：D&AD 銀賞 / 銅賞、Pentawards 銀賞 / 銅賞、OneShowDesign 銅賞、London international awards銅賞、Red dot design award、NYADC賞など。

◆株式会社五十崎社中 紹介◆

2008年 代表・齋藤宏之が愛媛にて1ターン起業。天神産紙・内子町商工会協力のもとJAPAN BRAND登録事業者としてフランスのギルディング（金箔）技術者がガボー・ウルヴィツキ氏から技術習得、商品開発を開始する。

2009年、2010年、2014年 パリ メゾン&オブジェ出展、東京ギフトショー初出展

2011年 上海 華東交易会出展、インテリアライフスタイル展初出展

2012年 ロンドンDECOREX出展 with BIDEN DESIGN

2015年 ミラノ国際博覧会クールジャパンデザインギャラリー出展（nendo佐藤オオキ氏デザイン和紙皿）、ミラノサローネ出展、愛媛県ジュネーブ商談会参加、クールジャパン官民連携プラットフォーム推進委員に選定

2016年 フランクフルト アンビエンテ DENSANブース出展

－開催概要－ IKAZAKI WALLPAPER展

会 期：2016年11月23日（水祝）～12月6日（火）※11月23日（水祝）営業
10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：株式会社五十崎社中



monova 主催
「monovaの冬モノ展」を開催！
2016年12月8日（木）～2017年1月17日（火）

年々リピーターを増やしている人気のやわらか湯たんぽと絹と炭のウォーマーのほか、食卓を彩る土鍋や器、手織りストールなど、五感で楽しむ季節のアイテムを展示します。



日本のモノづくりで寒さ対策！

地域で作られる、丁寧で温かな冬アイテム

日本素材や技術・デザインに特徴のある“冬に役立つ”アイテムを「目で、肌で、そして体の中から温まる」をテーマに、セレクトしました。通販・ロコミで話題「のウェットスーツ素材の湯たんぽ」と、着実にファンを増やし続けている「絹と炭のウォーマー」は、スタッフもイチオシの冬には欠かせないアイテムです。

また、今回は三重県・四日市のメーカー・銀峯陶器の無水調理ができるセラミックス鍋をご紹介します。昔ながらの萬古焼の土鍋は、多くの量販店での取り扱いがあるので知らない間に愛用している方も多いかもかもしれません。今回ご紹介する無水鍋は、現代の生活に程よくフィットする機能とデザインが嬉しい製品です。ホーム Spanien で丁寧に織られた Kuuge のストールは、色と形にきつと心躍るはず。寒い冬を楽しく過ごすアイテムを探しに、ぜひご来場ください。

【展示予定】※都道府県／メーカー

- 1) 大分県／ヘルメット潜水(株) 「ウェットスーツ専門メーカーが素材にこだわって開発した、世界初！ウェットスーツ素材の新感覚湯たんぽ」
- 2) 静岡県／(株)アスカム 「一度着用したら、手放せない！絹と炭のあたたかさサポート」
- 3) 愛知県／(株)セラミック・ジャパン 「コミュニケーションの輪が広がる、酒器だるま他」
- 4) 三重県／銀峯陶器(株) 「無水調理ができるセラミックス鍋 BLISSIO」
- 5) 京都府／kuuge(森原千裕) 「関東初出品！羊毛・シルク・木綿・麻など天然素材を使った、質感・表情が豊かなストール」
- 6) 茨城県／奥順(株) 「100年以上続く結城紬産地問屋がつくる、使いながら育てる、とっておきのショール」
- 7) 福井県／鈴木彫刻所 「鏡餅を愛でる～季節・暮らしにほどよく溶け込む白の彫刻作品」

—開催概要— monovaの冬モノ展

会 期：2016年12月8日（木）～2017年1月17日（火）

10：30 - 19：00 / 最終日は17：00迄 水曜定休 入場無料

会 場：monova gallery

東京都新宿区西新宿3-7-1リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：monova

※12月27日（火）-1月4日（水）は冬期休館となりますので、ご注意ください。

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00 水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

NARADOLL HIGASHIDA

「ひいな受注会&奈良一刀彫実演」を開催！

2017年1月7日（土）・8（日）・9（月祝）

奈良に800年以上続く奈良一刀彫。
木で作る可愛いお雛様の受注会と制作実演を行います！



“カタチが生まれる瞬間”に出会える実演会 実際にノミを使い大胆に彫り上げます

奈良一刀彫は、春日大社の奉納物として、約900年前に発祥した奈良の代表的な伝統工芸のひとつです。ノミで彫られた大胆な面と、日本画の絵の具や金箔などで繊細な色彩を施すのが奈良一刀彫の最大の特徴です。実演では、木材から人形が形作られていく過程をご覧ください。

雛人形の原点は、源氏物語に出てくる「ひいなあそび」と言われています。それは、女の子が憧れるお人形遊びでした。桃の節句の時期だけではなく、春夏秋冬、いつの季節も側に置き、楽しんでもらうもの。NARADOLL HIGASHIDAのひいなシリーズはそのような雛人形本来の姿を想い制作されています。

年明け・お正月にちなんだ干支人形や雪だるまの人形も特別販売致します。

【特別販売】

- ・一刀彫雪だるま
- ・一刀彫干支

◆ NARADOLL HIGASHIDA紹介◆

平安時代後期から奈良県に伝わる伝統工芸の一刀彫は、大胆な面と繊細な色彩が特徴の木彫人形です。一貫して一人の職人の手で真心を込めて作られた節句人形は、素朴で愛らしく表情豊か。NARADOLL HIGASHIDAでは、本来の一刀彫の伝統を受け継ぎつつ、現代の生活に調和し、年間を通して場所を問わず飾れるひいな人形の提案を行っています。



—開催日程—

- | | | |
|---------|---------------|--------------|
| 1/7（土） | ①14:00～16:00 | ②16:30～18:30 |
| 1/8（日） | ① 11:00～12:30 | ②13:30～15:30 |
| | ③ 16:00～18:30 | |
| 1/9（月祝） | ①11:00～12:30 | |

実演：NARADOLL HIGASHIDA 東田茂一氏

<お問合せ>

Japan creation space monova

担当：川田

tel：03-6279-0688（10：30-19：00水曜定休） / mail：info@monova-web.jp / WEB：<http://www.monova-web.jp>

會津価値創造フォーラム主催 「“DIARY AIZU” 生活と工芸展」を開催！

2017年1月19日（木）～2017年1月31日（火）

会津地域ならではの技術を活かした、今の暮らしに似合うものづくりをセレクトしました。
地元の地域活性化に励む有志が太鼓判を押す「普段使いのいいモノ」をご紹介します。



地域で選んだ“いま使いたい会津モノ”

会津の自慢を集めました

会津には会津の時間が流れています。豊かな自然や歴史的な建造物も多く残り、今も日常に溶け込んでいます。そしてその毎日の暮らしのなかで育まれた工芸の数々。この展示では、会津地域の地域活性化に励む有志がグループとなって、自分たちのお気に入りの会津製品をセレクトしました。今回、それらを首都圏に伝えていきたいと“DIARY AIZU”としてmonovaで展示会を開催いたします。いま自分たちが使っているもの、使いたいものを通じて、会津の良さを等身大で伝えようという企画展です。休日に地元のカフェでのんびりと過ごす風景を彩るような、会津の文化や環境、風景を感じるものづくりが集まりました。

是非、ご来場のほど、よろしくお願い致します。

【展示内容】* 予定

- 1) 漆製品
- 2) 会津木綿の製品
- 3) 会津本郷焼の陶磁器製品
- 4) 会津桐の製品
- 5) その他刺し子、馬革製品など

◆ 會津価値創造フォーラムとは ◆

会津の価値を創造し世界に発信することを目的に会津地域17市町村の官民一体で取り組む地域活性化プロジェクト。ワークショップ型の研修を通じ、人材育成や工芸品等の開発、スポーツイベント、展示会等の企画運営を行っています。

－開催概要－ “DIARY AIZU” 生活と工芸展

会 期：2017年1月19日（木）～2017年1月31日（火）
10：30 - 19：00 /最終日は18：00迄 水曜定休 入場無料
会 場：monova gallery
東京都新宿区西新宿3-7-1
リビングデザインセンターOZONE 4階
主 催：會津価値創造フォーラム
企 画：Japan creation space monova